

# 東芝テックOB会だより

第29号

2014年12月26日

## 第20回 東芝テックOB会総会開催

去る11月14日(金)第20回東芝テックOB会総会は、東京地区が開催場所となり「日本工業倶楽部」で開催されました。

当日は幸にも秋晴の中、遠方の兵庫、大阪、愛知、茨城、栃木、山梨に在住する会員を始め、多くの会員が出席されました。又、会社側は、恒例により池田社長を始め、役員各位が参加され、会社とOBとの交流を深める機会にもなりました。

総会開催に当り冒頭司会の寺尾幹事より発言があり平成26年度に亡くなられた17名の会員に対してあらためてご冥福をお祈り申し上げる為、出席者全員による1分間の黙とうが行われました。

総会はまず会長の開催挨拶に続き、来賓の池田社長から会社の現状を含め祝詞をいただきました。

議事としては、会計報告並びに飛田会計監事から監査報告がなされ原案通り拍手で承認されました。

引続き、米寿・喜寿を迎えられました50名の方々に対して盛大な拍手のなか、記念品贈呈が行われました。

懇親会は、西澤和雄元テック電子社長のご挨拶と、乾杯の音頭で始まり、久し振りに再会した会員相互の近況報告を交換しながら話題に花を咲かせ楽しい会になりました。

又、今回は、OB会設立20周年を迎えて、何かイベントを開催したいと計画していた所OB会員の本間剛雄氏のご厚意により本間氏の尺八と民謡の演奏がおこなわれにぎやかな懇談会になりました。

最後に藤田副会長による手締めと来年三島での再会を約束して無事終了しました。

(総会参加者名をP12に記載)



## OB会会長挨拶 要旨

会長 杉之内 義正



今年は、例年より若干開催日が遅れたにもかかわらず、兵庫、大阪、愛知、茨城、栃木、山梨等遠方に在住の会員を始め多数会員のご出席を賜り誠にありがとうございます。

今年も色々なことが起こりましたが、久しぶりにお元気なみなさんの顔を拝見することが出来大変うれしく思っています。

又会社より、ご多忙の中、社長を始め役員各位のご参加を賜り厚くお礼申し上げます。

すでに皆様はご承知のことと存じますが、池田社長は本年6月初代吉岡社長から数えて11代の社長に就任されたわけですが、現下の厳しい経営環境の中でリーダーとしてご苦勞も多いかと思いますが我々OB会としては、更なるご活躍を心より期待しております。

さて、当OB会も今年で設立20周年目の節目を迎えることになりました。

この間、多くの会員（約300名）が逝なり二度とこの会場でお会いすることが出来ないことは誠に寂しく無念の思いがしてなりません。我々OB会としては会社設立以来60余年職場で共に汗を流し、当社の歴史を作ってきた諸先輩を忘れることなく、これからも会員相互の絆を強め会社の成長と共に活動を続けて行きたいと考えておりますので、今後共よろしくご支援賜りますようお願い致します。

次は、お祝いの件ですがお手元の資料の通り今年40名の方が、米寿・喜寿を迎えられました。本当におめでとうございます。のち程OB会よりお祝いを差し上げたいと存じますが今後とも益々健康に留意され、毎年の総会にはお元気でご出席出来ます様お願い致します。

さて、本日は久しぶりの再会ですので、時間の許す限りご歓談賜ります様お願いいたします。又、第20回総会を記念して特別にOB会員である本間さんのご厚意により尺八演奏をご披露させていただきますのでお楽しみいただけますなら幸いです。

最後になりますが、会員各位の益々のご健勝と会社の繁栄を祈念すると共に開催準備にご支援いただきました関係者のみなさまに感謝を申し上げ、来年の総会でふたたび再会出来ることを願い、簡単ですが総会開催の挨拶といたします。ありがとうございました。

## 来賓祝詞 要旨

代表取締役社長 池田 隆之



### 【はじめに】

今年の6月鈴木前社長の後任として就任いたしました池田隆之でございます。

諸先輩の皆様が築かれた礎のもとに、全力をあげて当社の発展に尽してまいりたい所存でございます。

OB会会員の皆様におかれましては、引き続きのご支援、ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく申し上げます。

さて、本日は、「第20回OB会総会」にお招きいただきまして誠にありがとうございます。

皆様のお元気そうなお姿を拝見することができ、大変嬉しく思います。

また、米寿・喜寿を迎えられた皆様に対しましても、心からお祝いを申し上げます。

今後とも一層健康に留意され、お元気で過ごされますようご祈念申し上げます。

## [業績関係]

さて、10月29日に第2四半期の決算内容を外部へ公表しました。

2014年度上期の当社業績につきましては、世界経済は、米国では景気は緩やかに回復し、欧州では低成長が続き、アジアでは景気は総じて堅調に推移いたしました。また、日本経済は、消費税引き上げに伴う一時的な景気減速からの緩やかな持ち直しが見られる中で、経済対策・金融政策による下支えもあり景気は回復基調で推移いたしました。

このような状況下におきまして、連結業績につきましては、システムソリューション事業及びグローバルソリューション事業がともに順調に推移したことなどから、売上高は前年同期比6%増の2,562億92百万円、営業利益は前年同期比の15%増の122億18百万円、経常利益は前年同期比2%増の99億57百万円、四半期純利益は前年同期比32%増の51億48百万円となりました。

この数字は、上期における売上高、営業利益、経常利益はともに過去最高値を達成いたしました。

これにより、中間配当につきましては、対前年同期と比べて2円増配の1株当たり6円の配当とすることを決定いたしました。

## [トピックス]

次に、前回のOB会総会以降で当社の主なトピックスを申し上げます。

一昨年、IBM社のリテール・ストア・ソリューション事業を取得し、当社は、現在47カ国（日本を含む）に89のグループ企業を有し、国内7,000人、グローバルでは21,000人で事業を進めております。

このような中、

先ずは、13年度3つのシェアトップを維持しました。

1. POS販売台数がグローバルでは2年連続シェアナンバーワンを達成。
2. 国内では12年連続のシェアナンバーワン。  
特に国内POSは過去最高の53.4%となっております。
3. MFPの販売台数が、中国A3機で14年連続となるシェアナンバーワンを堅持しました。

次に当社の新たな取り組みであります、日本初のスマートフォンと電子レシートの組み合わせによる新サービス「スマートレシート」についてご紹介いたします。

当社が開発したスマートレシートは、通常は紙

として提供される買い上げ商品の明細レシートを電子化し、センター（＝電子レシートセンター）がデータとして預かり、買い物客が自分のスマートフォンですぐにレシート内容を確認することができる仕組みです。

11月より「みやぎ生協」の全47店舗で「スマートレシート」のサービスを開始し、今後はコープ東北の利用可能店舗の拡大を予定するとともに、流通各社にスマートレシートの導入を順次提案していきます。また、2015年春以降、クーポン配信やアンケートなどお買い物をより便利に楽しくできる機能も追加していく予定です。

最後になりますが、皆様が開発、製造、販売してきました世界初のインクジェット方式の東芝製ファクシミリ「COPIX - 440」が、独立行政法人国立科学博物館が主催する2014年度重要化学技術史資料（愛称：未来技術遺産）に登録されました。

「COPIX - 440」は自動受信機能、自動給紙機能、通信時の自動能力判別など、現在の複合機にも実装されている機能の先駆けとなった製品であります。

## [今期を迎えて]

既に下期がスタートし、1ヶ月が経過しましたが、2014年度通期においては、売上高は、5,200億円、営業利益は、280億円、経常利益は、260億円を計画しており、この計画値は、それぞれ過去最高額であり、非常に高いハードルではありますが、各部門全力をあげて計画達成のための施策に取り組んでいるところでございます。

また、年間配当につきましては、対前年で5円増の1株当たり13円を目標としております。

## [終わりに]

本日は、年に1回のOB会総会となりますが、私以下役員が出席しておりますので、皆様とご歓談させていただき、近況を共有させていただければと思います。

最後になりましたが、本会の発展と皆様方の益々のご健勝を祈念いたしまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

以上

# 第20回東芝テックOB会総会しおり

平成26年10月31日現在の東芝テックOB会会員数は次のとおりです。

## 会員の状況

新会員	48名
ご逝去者及び退会者	33名(逝去者17名、退会者16名)
総会員数	1,061名(内 終身会員数64名)

**お祝い** 平成26年度米寿、喜寿をお迎えになられた方々は下記のとおりです。  
ますますご健勝でありますようお願い申し上げます。

### ☆ 米寿のお祝い (3名) 昭和2年生

小川昭司 様、小林久衛 様、佐藤昭一 様

### ☆ 喜寿のお祝い (47名) 昭和13年生

青木 進 様、青木 豊 様、浅山興次郎 様、飯塚征四郎 様、飯塚輝芳 様、磯部昭三 様、伊奈 豊 様、植松 隆 様、上村達雄 様、太田正治 様、大友敏彰 様、大村晏吉 様、荻野一郎 様、小野孟朗 様、菊池保夫 様、木下盛雄 様、栗原仁士 様、小岩一匡 様、小林昭男 様、酒井 登 様、佐藤寿一 様、菅原たみ子 様、鈴木金光 様、鈴木 孝 様、竹内正成 様、武田光雄 様、土屋節子 様、富樫吉郎 様、飛田 捷 様、中島孝之 様、長野重夫 様、中村達夫 様、中村順一 様、畑中 颯 様、馬場正孝 様、原久松 様、平田正信 様、藤田晃次 様、古屋義雄 様、間浦 寛 様、正木武史 様、松岡 充 様、森 健一 様、森下 昇 様、矢後年章 様、安田吉延 様、山本延一 様

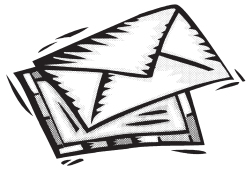
## 訃 報 心からご冥福をお祈り申し上げます(17名)

谷本 満 様(H25.12)、佐藤久夫 様(H25.12)、青沼俊雄 様(H25.12)、櫻井義勝 様(H25.12)、近藤哲二 様(H25.12)、高田源一郎 様(H25.12)、狩野俊夫 様(H25.12)、豊納健蔵 様(H26.1)、齊藤哲也 様(H26.1)、武 英道 様(H25.3)、松本健一 様(H26.5)、堀田正視 様(H26.6)、渡辺周吾 様(H26.6)、宇佐美 雄 様(H26.7)、鈴木富枝 様(H26.7)、溝上清三 様(H26.7)、城所幸男 様(H26.8)

## 平成25年度会計報告

収入の部		支出の部	
前期繰越金	2,089,781		
会費(年会費)*	1,790,200	幹事会運営費	140,600
雑収入(預金利息)	164	OB会だより・封筒等	843,240
雑収入(祝儀)	20,000	お祝い金	400,000
雑収入(戻入分)	10,000	香典及び生花代	181,800
		支部運営費	454,000
		行事活動補助	3,000
		HP運営費	78,747
		雑費(振込手数料等)	106,120
		(郵便局)	101,536
		(銀行)	4,584
収入計	1,820,364	支出計	2,207,507
		次期繰越金	1,702,638

\* 会費納付誤り1件あり△1,800円(後日納付完了)



# 会員の広場

## 退職から 20 年 ～碓井 和美さん～

会社を退職して早 20 年、最近は特に現役として働いた頃が懐かしく感じるようです。

退職後は同時期に退職された市川、吉川、林 3 氏が設立された（株）ユアーズで 65 歳までの 4 年間で勤めさせていただきました。その間地域での副区長、区長に任じられましたが自分の我が儘一杯に働かせていただいたことに感謝しています。

その後「大仁町社会福祉協議会」会長に任命され、平成の大合併に伴い「伊豆の国市社会福祉協議会」会長に就任することとなり、昨年 5 月末まで 10 年間で社会福祉に携わってきました。

会社一筋に長年生活をしてきた私達は、とかく退職後は環境の大きな変化に伴い行動範囲が極端に狭くなる、又地域活動に溶け込めない等の問題が考えられますが、私としてはそんな危惧など感じている間もなかったように思います。

大変に大勢の人達に出会い、色々と難しい問題と直面してきましたが、そんな中で会社で色々な教育を受け勉強させられ、製造部の担当や部品調達担当などの厳しい現実と向合ってきたことが大変役立ったことを今更ながら感謝の気持ちです。

会社の仕事、又地域の小さな活動しか経験の無い私に社会福祉協議会会長の任命が未だに謎であります。社会福祉協議会は民間の福祉法人団体ですが、行政（市）の福祉事業を一部委託され行政と密接な連携をする中で事業展開をしています。

それに関わる財政的な支援も多く実態は半民、半官といった認識が一般的な状況にあります。したがって職員の意識もなんとなく年間行事計画に沿ってミス無く仕事をこなす、そんな考え方や態度が多く目の付きました。民間企業の厳しさを少しでも理解して自立の出来る事業所に、それが私に課せられた使命だと覚悟して取り組みました。

自分たちの仕事に対するコスト、品質、サービスなど仕事の内容は異なっても考え方や取む姿勢などは共通です。時に触れ自分が会社の仕事を通じて経験した、又学んだ事を話し理解、実践させるように求めてきました。自分達が現役の時に繰返し言われてきた事、苦しかった当時を思い出しながら地道に進めてきました。私に取り組んだ成果は自分では測れません。又成果が数字に現れ難い仕事でもあり今後の社会福祉協議会がどう市民に評価されるによるものだと思っています。

福祉の仕事は多種、多様なニーズがあり制度の改正も頻繁に行われ、法遵守も厳しい大変な仕事であります。少子高齢化が顕著な現代増々その必要性は増大するものと思います。私としてはこれから先何が出来るか市民として出来るかぎりの応援をしながら、又職員の頑張りを期待しながら見守って行きたいと思っています。

私事です。昨年 8 月に妻に先立たれました。本当に慌ただしい 20 年を過ぎたものだと今思っています。

平成 26 年 8 月  
静岡県伊豆の国市三福 碓井和美



退任慰労の会で孫達に囲まれた写真です

## グライダー搭乗記 ～山代 克彦さん～

75才になった私はゴルフ等から遠ざかり唯一残っているのはグライダー操縦ぐらい。埼玉県熊谷市の利根川に関東学生グライダー連盟の合宿所があり、学生達が毎週グライダーの練習に励んでいる。その練習期間の一日を我々OBに開放してくれる。グライダーは1人では何も出来ない。グライダーを引張り上げるウインチ（巻上げ機）の操作要員。発進迄グライダーを水平に保ったり、着陸した機体を発進地に戻す要員など十名以上が必要になる。それらを学生に頼むことになる。

10月のその日は絶好のグライダー日和で雲一つなく遠くに鳥が舞い農家の煙が上昇している。サーマル（上昇気流）があちこちに湧いているのがわかる。

私の番が来た。二人乗りの前席に乗り後席には後輩の教官が座る。出発の合図でウインチが回転しグライダーが45度の角度で空中に上昇する。400m位で引張っている綱を離し水平飛行に入る。いつもならサーマルを探す苦労があるがこの日は

昇降計がプラス2つまり1秒に2mの上昇を示していた。はるか遠くにかすむ赤城山を目指して旋回をくり返していると高度計は700mを指していた。

翼を切る風の音を聞きながら下界を見おろすのがグライダーの醍醐味だ。熊谷市の住宅街や農地を見ながら旋回をくり返すうちに高度計は900mになっていた。「酸素吸入器がないので1,000mを超すのは止めましょう」と教官。楽しんでいるうちに離陸後30分が経っていて地上から着陸指示が来そうだ。今の気流だとまだ何時間も飛べそうなのだが。「そろそろ降りますか。着陸は危険なので自分がやります」と教官。私の学生時代と比べグライダーの性能特に揚力が高いので着陸は私が操縦したら滑走路をオーバーランしてしまう。

深い旋回を繰り返すとたちまち高度が落ちてくる。着地滑走の度にこの次はいつ飛べるだろうかといつも思ってしまう。

## 大仁五七〇番地別館 ～兼高 俊さん～

古美術、大正時代から続く月刊誌、叔母方の漫画家の本、ランプ、箸置きなど色々な物を集めているが、その中に大仁五七〇番地に関連する製品群がある。言うまでもなく、大仁五七〇番地は東京電気発祥の地であるが、歴史を振り返ってみると、間宮堂、日本（ナショナル）金銭登録機、東芝富士見分工場なども生産活動を行っていた。私がこの地で製造した古い製品を集める切っ掛けとなったのは、2008年、ビッグサイトで開催されている骨董市で昭和26年製のブルースター計算機を手に入れたことに始まる。また、2010年には、幻の間宮式手提げ金庫を手に入れることが出来た。東京電気には、古い製品を管理するという慣

習が無かったので、私個人で集めてやろうと、古く、かつ初期の製品を手当たり次第に集め始めた。収集の対象も、家電・照明などにも広がり、現在は、60点程になった。また、カタログも集めており、これには大変貴重な物も含まれる。

希少品としては、間宮式金庫、日本金銭登録機の初期の製品、東芝初のウォーキングトースター1号、ミキサー1号、トランジスタ時計、ハイメトロン、マコニックなどなど。

掘り出し物がないかと、インターネットオークションを今日もチェックしている。古い製品又はカタログなどをお持ちの方は、連絡下さい。



◀ 照明家電



事務機 ▶

## 近況報告 ～唐石 俊之さん～

定年退職して2年になりました。現在は、主夫をしています。家内が勤めている関係で、私が炊事や洗濯等の家事をやっています。定年になるまでは、料理を作ったことがなかったので、定年になる1年前から、近くの料理教室（はじめての料理の会）に月に一度、通うことにしました。これまでにないチャレンジでした。定年時には、12種類のレシピ（料理の作り方）を覚え、まずは、12種類を繰り返してゆくことからスタートしました。家族も大変喜んでくれて、「星三つ!!」と味も好評でした。ただ、しばらくすると、2つ困ったことが出てきました。

1つは、冷蔵庫の中が、材料の残り物で一杯になってきたことです。レシピ通りに作ると、買ってきた量より使う量が少ないので、野菜や肉など余ることが多くなります。家内から、「冷蔵庫に残っているものを見て、料理を作れるようになるといいね。」と言われ、新たな高いターゲットができました。確かに無駄が出ますので、コスト削減のチャレンジです。困っているところに、知人から、料理のホームページがあることを教えてもらいました。そこでは、材料を入力すると、その材料でできる料理の名前とそのレシピが出てくるようになっていきます。まさに、ピッタリの解決法で、便利なものがあるんだな、と感心し、とても

嬉しかったことを覚えています。それを使って、今晚のメニューを決めることができるようになりました。

困ったことのもう1つは、料理に時間がかかることです。レシピを見ながら、大匙1、1g、1分を精確にと思うと、つい時間を忘れ、夕方5時にスタートしても食べるのは8時過ぎになってしまいました。「もう少し早くなるといいけど。やっているうちに早くなるから。」とアドバイスももらいました。時間短縮の課題です。最近では当初の半分以下の時間になりましたが、繰り返すことで、もう少し短くなりそうです。

ちょうど2年過ぎたので、これまで作ったレシピを数えてみると250枚程になっていました。そして意識はしなかったのですが、現役の時と同じように、コスト削減と時間短縮の課題にチャレンジしているんだなあ、と思わずニヤニヤしているこの頃です。

最近では、近くに住んでいる娘たちが、好きな料理をリクエストして、遊びに来るようになりました。とても嬉しいです。(^^)

料理は奥が深く、入口に立ったばかりですが、私の料理を食べてもらって、笑顔で楽しく話ができるようにと思っています。

## 我がふるさとの検藤流 ～若杉 義久さん～

皆さんは、毛受勝助家照（めんじょうしょうすけ いえてる）と言う戦国武将をご存知でしょうか？

勝助は柴田勝家に仕えて越前の国で1万石を領する勇猛果敢な武将でした。彼は近江の国の賤ヶ岳（しずがたけ）の合戦で奮戦しましたが、最後は主君の身代わりとなって討死にしました。

その子孫の毛受周平（めんじょうしゅうへい）が、文化八年（1811年）に農民に教えたのが、“棒の手”の“検藤流（けんとうりゅう）”の始まりと伝えられています。

“棒の手”とは？“検藤流”とは？ いったい何のことなのかご存知ない方が殆どだと思います。

わが町、尾張旭市やその周辺の市町村では、“棒の手”が伝統として人々に受け継がれています。これは、棒術、剣術、薙刀術など日本武術の形を



“棒の手”の演武

踊りにしたものです。しかし、武術の型のような動作、所作が必要です。また、棒や太刀、槍や薙刀・鎌や真剣（本物の刀）を使い、二人の演じ手が斬り合う演武を相互に行うものです。その中のひとつの流派が“検藤流”なのです。

現在、尾張旭市では、五つの流派が受け継がれています。

“棒の手”は愛知県の無形文化財の指定を受け、毎年10月の秋祭りに地元の氏神様を祀る神社に、五穀豊穡を願って演武を奉納しております。

そのために、小学校1年生の男の子から成人男子までが、自治会の集会所で9月より、毎晩、師匠の指導により演武の練習を行っております。

私は、幼いころから“棒の手”に慣れ親しみ、演武の練習を重ねてきました。

36歳の時、先代の師匠より巻物を譲り受け、師匠として後進の指導に邁進して参りました。そして4年前に師匠としての巻物を後進に譲り、現在は“検藤流”棒の手保存会、三分会ある中の一分会会長を務めさせていただいております。

企業でも、団体でも悩みの種はつきものですが、やはり保存会としての問題は伝統芸能の存続と文化の継承です。

“棒の手”の後継者の育成に頭を悩ませていますが、東芝TECの営業の経験を生かし、様々な方法でPRを行い多くの方にご協力を頂きながら、“棒の手”への新たな参加者を増やして、少しずつ前進しています。


私は分会長として、奉納演武の総括や練習の取り纏めとして毎年この季節は、忙しくなります。演武の練習では、おもに小中学生への指導を行います。祭の当日は、“警個隊”と呼ばれる火縄銃の鉄砲隊や“棒の手”の演武隊などを中心に約100名が戦の衣装に草鞋を履き隊列を組んで、飾り馬を先頭に町内を練り歩きます。予め決められた場所で“棒の手”の演武や、火縄銃の発砲（空



鉄砲隊の一斉発砲

毛受兄弟ゆかりの地に伝わる伝統芸能

膝ヶ岳合戦 430年記念事業



愛知県無形民俗文化財 **棒の手** 奉納


【日時】 平成25年4月21日(日) 午前11:00～

【場所】 久澤山 全長寺 ※会場は毛受兄弟の習習場です。  
(長岡市余呉町地区 ☎0749-86-2001)

また奉納に先立ち、毛受兄弟430回忌法要を執り行います。  
【時間・場所】 午前9:30～・毛受兄弟の墓前にて

棒の手とは… 『棒の手』とは、棒や太刀時には真剣を用い、2人の演じ手が互いに従って演技を行う、愛知県域に伝わる武術的な民俗芸能です。

検藤流とは… 中でも、稲置村(現-稲置町)に伝わる『検藤流』は、毛受勝助家康の子孫が神術を教えたのが始まりと伝えられています。



**棒の手奉納の見学は無料です。**

主催・お問い合わせ  
毛受兄弟史跡保存会 会長 尾崎尚武 ☎0749-86-3438

後援  
余呉町地域づくり協議会 / 奥ひわ湖観光協会余呉支部

砲撃ち)も有ります。約50名からなる鉄砲隊の一斉発砲は、轟音とともに火を噴き壮観です。戦国時代の戦を彷彿とさせる光景です。最後に神社の境内で、氏神様へ演武の奉納をします。近隣の住民の皆さんとともに、もっとも盛りがる祭のクライマックスを迎える時です。

来年は市制45周年の行事も重なり更なる迫力を求めて邁進いたします。

最後に保存会の継承はもとより益々のOB会の発展と、皆様のご健勝を御祈念申し上げます。



## 《第22回 OBリレー首都圏ファミリーウォーキング》

### 《江戸の賑わい両国町歩きと江戸東京博物館見学の歴史ウォーク》

10月15日（水）14名参加、あいにくの雨の中ウォーキングをしました。

（ウォーキングコース）

J R 両国駅西口～回向院～吉良邸跡～芥川龍之介・文学碑～勝海舟生誕の地～榛の木稲荷神社～江戸東京博物館3階休憩所（昼食）～東京都慰霊堂～旧安田庭園～江戸東京博物館（常設展示見学）～両国駅  
約12,000歩のコースで約4.5時間のウォーキングでした。

（写真は中田修二様、岡崎惇美様から一部提供させていただきました）



回向院入口にて



回向院本堂前にて



東京江戸博物館3階



集合場所の両国駅で(オリエンテーション)



相撲力士の像と手形・手の大きさを比較する



鼠小僧の碑と削ると  
ご利益のある石



勝海舟の生誕地



時津風部屋前(両国は相撲部屋が多い)



吉良邸跡



榛の木稻荷神社



江戸東京博物館3階の休憩所で昼食



休憩所でハーモニカを演奏する  
中田さん



徳川家康公銅像



休憩所で記念写真



震災資料館へ向かう参加者達



内部



安田庭園を歩く参加者たち



博物館内部の日本橋を渡る参加者達



東京江戸博物館



安田講堂とスカイツリー

## 《第23回 OBリレー首都圏ファミリーウォーキングのご案内》

東芝テックOB会・テック電子OB会・東芝テックソリューションサービスOB会 共催

### 《新宿御苑から神宮外苑～乃木神社～六本木ミッドタウン桜ウォーク》

新宿御苑は明治時代の旧皇室庭園で毎年政府主催の「桜を見る会」が開かれる環境省直轄の国民公園で、千本余りの見事な桜が見られます。乃木神社では軍神乃木邸が見学でき桜と共に日本国の近代化の基礎を築いた乃木大将の思いに触れる事が出来ます。帰りは超近代的都市、六本木ミッドタウンをめぐる桜ウォークです。



- ① 開催日時：平成27年4月1日（水）  
・・・11：00～16：00  
（雨天の場合は翌日4月2日（木）に実施します）
- ② 集合場所：JR総武線（中央線）  
・・・千駄ヶ谷駅・改札口
- ③ 集合時間：10：30 AM 受付開始～  
11：00 AM 出発～
- ④ 参加対象：OB及びその家族、  
知り合い友人をお誘い下さい。
- ⑤ 参加費：一人300円／家族単位500円

⑥ コース案内人：鎌田芳郎（東芝テックOB会）

⑦ 予定コース：

JR千駄ヶ谷駅（11：00 出発）～新宿御苑・千駄ヶ谷門～西洋庭園～旧洋館皇族休憩所～西休憩所～日本庭園（昼食1時間休憩）～台湾閣～千駄ヶ谷門～神宮外苑・絵画館～いちょう並木～墓地通り～青山霊園～旧乃木邸～乃木神社～ミッドタウン・さくら通り～六本木駅（16：30 解散）  
（全コース：約5Km・・・8,000歩）

⑧ 申込先・方法：下記幹事にE-mail又は電話・Faxにて、住所、氏名、電話、最終所属をご連絡下さい。

⑨ 申込締切：平成27年3月25日（水）

⑩ その他：持参品：お弁当・健康保険証、雨具・・・

◎ 解散後希望者は六本木駅近くで、ささやかな打ち上げ会を予定。



塚原 仁	TEL/FAX: 042-364-8397	E-mail ICK59860@nifty.com
鎌田芳郎	TEL/FAX: 03-3771-0057	E-mail kamayosi@zj8.so-net.ne.jp
TTSS OB会	TEL: 03-5245-9001 FAX: 03-5245-3494	E-mail TTSS_OBkai@toshibatec.co.jp
吉田昭太郎	TEL: 0463-58-8610 FAX: 0463-26-3075	E-mail shotaro.yoshida@nifty.com

# 事務局より

## 《会員の状況》（OB会総会以降～）

### ☆新会員

菊池祥泰さん、竹田俊久さん

### ☆逝去会員

鈴木武盛さん(H26/12)

## 《年会費お振込みのお願い》

2013年会費（2千円）につきましては、2014年9月中旬までにお振込願いをさせていただいておりますが、現時点振込が終わっていない方がおります。

恐れ入りますが、2015年3月末までに振り込んでいただけますようお願いいたします。

注1. 終身会員の方（数え年85歳以上）は、年会費免除となります。

## 《会員の広場原稿募集》

会員の皆様から原稿を募集しています。

「今、ハマっていること」や「旅の思い出」などどんなことでも結構ですのでふるって投稿して下さい。

◆文字数・・・400字程度

◆写真・・・写真等2枚程度（本人が写っている写真を必ず入れて下さい）

◆送り方・・・直接原稿を郵送していただくか、メールにて投稿して下さい。

## 第20回 東芝テックOB会総会参加の皆さん

青木和彦さん、青木秀夫さん、青木建夫さん、浅野修一さん、足立 仁さん、天野 透さん  
池田 宏さん、池田長生さん、池田昭二さん、池西憲一さん、池本節二さん、井沢孝次さん  
石橋昂康さん、泉 正子さん、磯貝喜代子さん、井出昌利さん、伊東秀夫さん、伊藤栄康さん  
稲塚 寛さん、猪俣和人さん、岩根英行さん、植木功夫さん、上杉一芳さん、鷗沢 博さん  
榎本昭雄さん、江本信夫さん、大坂規久さん、大嶋盛次さん、太田いづみさん、大友敏彰さん  
大本 潔さん、岡崎孔一さん、岡崎惇美さん、小倉清彦さん、海江田充弘さん、粕谷彌太郎さん  
片桐信治さん、加藤幸恵さん、兼高 俊さん、加納将吉さん、鎌田芳郎さん、亀山和實さん  
加山精一さん、唐石俊之さん、河田唯一さん、菊池重生さん、菊池好子さん、城所哲男さん  
小泉奈津子さん、五木田正美さん、小嶋正一さん、小菅壽勝さん、小林 章さん、小林 恂さん  
今野孝洋さん、西喜秀子さん、櫻井正之さん、佐々木一綱さん、佐藤寿一さん、佐野俊一さん  
澤津敏彦さん、渋谷末松さん、清水好明さん、下村精鋭さん、菅 修一さん、杉ノ内義正さん  
鈴木賢太郎さん、鈴木成二さん、関口重男さん、高橋妙子さん、高橋敬次さん、田窪啓二さん  
田寫一郎さん、土屋孝一さん、土屋 守さん、寺尾 潔さん、徳武明彦さん、殿岡 修さん  
鳥羽康之さん、飛田 捷さん、永井勝寛さん、中川周吉さん、中田修二さん、中村健一さん  
浪川邦俊さん、西澤和雄さん、橋村哲夫さん、畠山昌春さん、東 高司さん、東田和憲さん  
彦坂久二子さん、日吉きみさん、日良勝嘉さん、藤田亀義さん、藤田秀明さん、藤野公男さん  
二木一平さん、古沢清十郎さん、古橋成夫さん、本間剛雄さん、前田義廣さん、松岡 充さん  
松永秀隆さん、松本 弘さん、水口勇夫さん、溝口 誠さん、宮澤慶治さん、村上俊彦さん  
室伏好子さん、矢口隆次さん、山川信行さん、山口 正さん、山代克彦さん、山田通夫さん  
山本重司さん、横井健一さん、吉井 均さん、吉田昭太郎さん、涌嶋 章さん、渡辺修二さん  
渡辺利伊さん

以上